

宇津木さん障害者ソフトボールを指導

高崎市のNPO法人「ソフトボール・ドリーム」の

理事長で、元日本代表監督の宇津木妙子さん(62)(高崎市在住)が22日、さいたま市内で、日本初の知的障害者女子ソフトボールチーム「武蔵野プリティープリンセス」の選手や支援者を募るスカウトキャラバンに参加した。

入団を希望する特別支援学校の女子生徒ら7人のほか、サポート役を申し出た健常者、地元の中女子ソフトボール部員ら計約70人が参加。

打撃、守備、走塁などの班に分かれ、基本動作や上達のコツを学びながら交流を深めた。宇津木さ

ノックなどを通じて参加者と交流した宇津木さん



んは、「ソフトボールを通じて、彼女たちに楽しく、生き生きと体を動かしてもらえれば。上達も早いし、みんなももっとうまくなるよ」と話していた。